

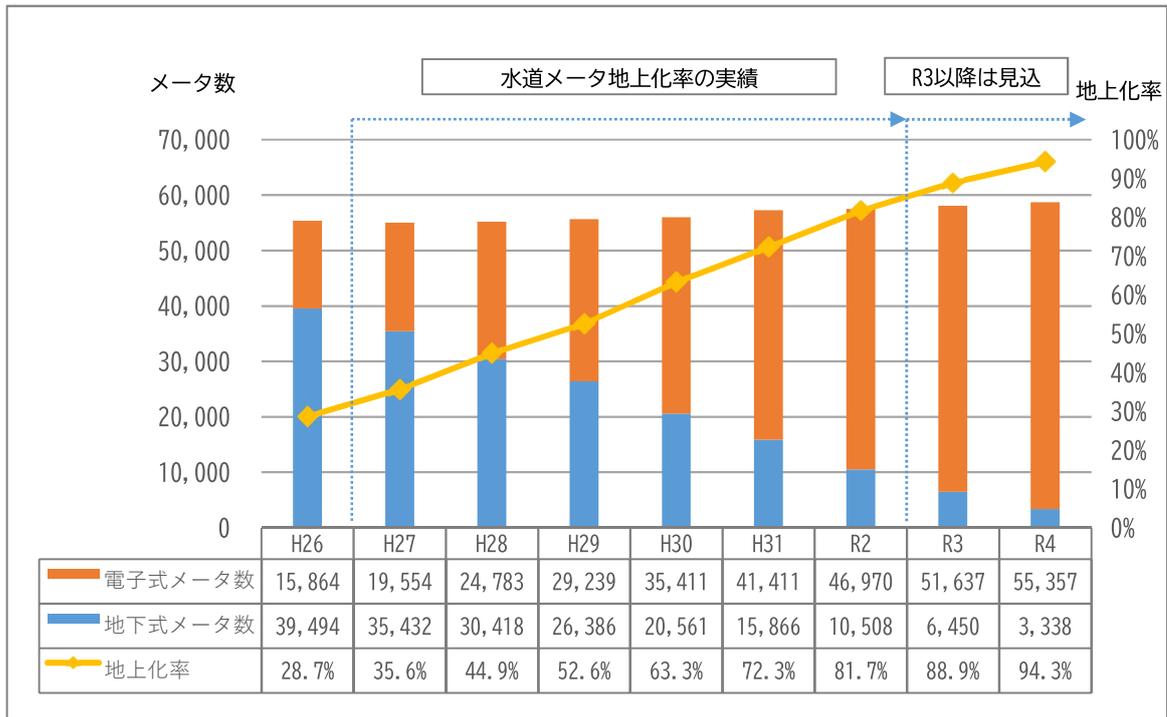
## 水道メータ地上化の進ちよく状況と検針・収納方法について

### 1. 水道メータ地上化の進ちよく状況

#### (1) 経過

- ・平成16年4月：新築住宅等の水道メータに「電子式メータ」を採用
- ・平成26年2月：江別市水道事業中期経営計画（第11次財政計画）策定  
（水道メータの地上化を決定）
- ・平成27年4月：地下式メータの8年ごとの更新時に「電子式メータ」に交換  
（目標：令和4年度の地上化率100%）
- ・平成31年3月：江別市上下水道ビジョン策定  
（電子式メータ設置による地上化の推進）

#### (2) 地上化の推移



#### (3) 今後について

- ・令和3年度末の水道メータ地上化率は88.9%（見込）
- ・地上化を選択していただけない場合があるため100%に達しない  
理由：表示カウンタの外壁への取付けや宅地内の舗装の切断を伴う掘削の承諾が得られない場合があるため
- ・今後も引続き地上化率の向上を目指す

## 2. 検針・収納方法について

### (1) 検針方法の経緯

- ・昭和53年 4月：2か月検針から4か月検針に移行
- ・平成26年 2月：江別市水道事業中期経営計画（第1次財政計画）策定  
（メータ地上化に合わせて検針間隔を4か月から2か月に短縮することを決定）
- ・平成27年10月：4か月検針から2か月検針に移行
- ・平成31年 3月：江別市上下水道ビジョン策定（毎月検針の導入検討）

### (2) 毎月検針・精算型収納のメリットと課題

	毎月検針	精算型収納
メリット	<ul style="list-style-type: none"><li>・漏水や異常水量などの早期発見による無収水量の抑制</li><li>・毎月の各戸の使用実態把握による見守り機能の充実</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・事務の効率化（還付減少など）</li><li>・標準的な料金システム導入による費用削減</li><li>・クレジットカード（キャッシュレス）決済の導入</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・関連業務（料金収納業務委託、ハンディターミナル）更新時期とのスケジュール調整 → R6年度更新予定</li><li>・検針体制の強化</li><li>・経費削減策の検討（人件費等）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・条例改正</li><li>・地下式メータに係る対応（特に冬期）</li></ul>

### (3) 今後について

基本的には電気・ガスなどと同様、毎月、実際の使用水量を検針により確定し、料金を請求する精算型収納が最も確実で、負担が少ない方法であると認識している。

令和6年度に予定している料金収納業務委託とハンディターミナルの更新に向けて、費用対効果など総合的に検討し、今後の方向性を見出していく。